

Audio Accessory

クオリティアップを目指す全てのオーディオファンへ！

本誌厳選の注目製品、そのサウンドを徹底チェック

グレードアップ・ケーブル スクランブルテスト

本当の意味での「ピュア」を追求する
夢のクリーン電源システム 世紀の一斉比較



特別付録
雑誌付録として世界初の試み！
UNA MAS
Special Sampler MQA-CD

Phile
web

A誌の注目記事は
WEBでも楽しめます！

2017 SUMMER 165

NAGAOKA

INS-SU01/INS-BR02

OPEN(4個セット) INS-SU01(ステンレス) = ¥24,000(税込) INS-BR02(真鍮) = ¥26,000(税込)

スパイクの先端にルビーを採用したインシュレーターを試用して、洗練された性能に驚いた。この種の性能は最終的には材質の物理性、剛性が決め手になると予想していた。ピンポイントでルビーを使う機種や、ナガオカはステンレス材とアラス材(真鍮)と組み合わせ2種類を製造化。超精密加工技術を持つ同社だから実現した。金属部の加工も精度が高い。ルビー(合成製造のモース硬度は、ダイヤモンドの10に対し9の硬度を持つ)。

マランツのCDプレーヤー、SA-11S3のシャーシー底板に直接土筒で使いテスト。ステンレススパイクのINS-SU01は、高SN比で澄みきり混濁は極めて少ない。繊細な解像力で倍音スペクトラムを美しく表現、音は繊まりを効かせ、低音の量感は多少あつさりする傾向を感じるが、分解力は高く他の音楽機器の音程の変化は大変明確に表現される。中立的な音質でクセがなく解像度の高い写実性をみせる。

真鍮スパイク材を採用したINS-BR02は、ステンレスよりもコントラストや解像度の繊細性は甘くなるが、音場感を豊かに広げ、全体に柔らかさのある、なめらかな音質が特徴。透明度が高く空感の少ない効果が魅力の藝術性が特色だ。中音附近のレスポンスがきれいに立ち上がりてくる。



ピンポイントでルビーを採用 異次元の効果を引き出す

福田雅光 Masanobu Fukuda

注目ポイント

ルビーを採用した世界初の構造は、異次元の作用を発しませる。この価格では考えられない性能。電源ボックスにも使ってみたい。

SPEC

[INS-SU01] ●素材:ルビー+ステンレス ●耐荷重:200kg(静荷重1個あたり) ●サイズ:スパイクφ25×23mm、ベースφ25×6mm ●質量:スパイク43g、ベース29g

[INS-BR02] ●素材:ルビー+真鍮 ●耐荷重:200kg(静荷重1個あたり) ●サイズ:スパイクφ25×23mm、ベースφ25×6mm ●質量:スパイク47g、ベース24g ●取り扱い:ナガオカトレーディング

正みの発生が想像できる。高級高額ケーブルを発売するメーカーは慎重に検討してほしい。

ケーブルの設計動向は芯線の径が太くなる傾向だ

また、芯線径を太く設計するようになつたことも動向である。かつて芯線は0.18mmを採用するが標準だったが、これは極細線の範囲で、もつと芯線を太くするべきだと提案してきた。0.08mm芯線の集合導体は、振動で混線漏電を発生して独特のマイナス要素を感じていた。今回のサエクは0.26mm、アクロリンクは0.37mm

を採用しているのは、大きな設計の変化といえる。

福田屋が芯線径に注目するようになったのは、独インアクトステック社のLSシリーズで採用されていた0.32mmの太い芯線設計のケーブルを聴いた10年以上も前の

ことである。芯の強い解像度の高さに注目した。多彩なケーブルを

KOJOテクノロジー 電源ケーブルKS-3が バージョンアップ

現在では格別に優れているとまでは言えないものの、なぜか信頼

感く」とは、「なぜ、このような音になつてゐるのか」を知る機会でもある。



ルビー球と金属材料を組み合わせた、ナガオカのインシュレーター。ルビーステンレスのINS-SU01(写真右)と、ルビートンネルのINS-BR02(写真左)を発売。スパイクφ25×23mm、ベースφ25×6mm。静荷重は1個あたり200kg。価格はいずれもオープンで、取り扱いは(株)ナガオカトレーディング TEL:03-3479-8181

このKS-3が5月にバージョンアップされ、KS-3Ⅱになった。主な変更は、採用されているAETTのブレーキとインレットゴネクターがトランギング対策製品に改良された点。これを装着したのが大きな違いとなる。性能を比較すると、SN比、解像度、レスポンスに優れ、音の鮮度が高まつた。

●話題のアイテム

ルビースパイク インシュレーター ナガオカINS-SU01

超精密加工を得意とするナガオカから、スパイクの先端にルビーを採用した世界初の構造のルビースパイクインシュレーターINS-SU01が発売された。果たし

てルビーは、インシュレーターの性能にどのように作用し、メリットがあるのか。また手頃な価格にも興味を持った。詳細は別項にレポートしたので、ここでは宝石を

PO-1テクノロジーのKS-3だ。解像度が高く、フラットなバランスでキャラクターが少ない。新製品のテストには、付属電源ケーブルで試験してもそのあとにKS-3で確認する。このことに10万円のケーブルを使うのは適当ではないが、3万円以下であれば許されるだろう。このケーブルを推奨していることではなく、製品がどこまで可能性を持っているのかを調べるために。

このKS-3が5月にバージョンアップされ、KS-3Ⅱになった。主な変更は、採用されているAETTのブレーキとインレットゴネクターがトランギング対策製品に改良された点。これを装着したのが大きな違いとなる。性能を比較すると、SN比、解像度、レスポンスに優れ、音の鮮度が高まつた。

効果は、経験のない洗練された性能を見せた。2種類あるが、表現力はステンレスを採用したINS-SU01が高精度で、その魅力を代表している。混濁の発生しない広い音域、解像度の高い性能をみせる。低音のエネルギーはやや少ないが、あまり問題は感じない。

アナログリラックス除電フランジ CDフットにも活用できて SN比やコントラストを改善

LPレコードのクリーナーを探していたら、アナログリラックススパイクインシュレーターINS-SU01が発売された。果たし

てルビーは、インシュレーターの性能にどのように作用し、メリットがあるのか。また手頃な価格にも興味を持った。詳細は別項にレポートしたので、ここでは宝石を